

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社グリーンフロンティア(仮称)大和事業所 新築工事	階数	1F
建設地	大和市中鶴間字乙四号2312-1他4筆	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	180 人
気候区分		年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年5月28日
敷地面積	22,395 m <sup>2</sup>	作成者	(株)創元設計
建築面積	4,176 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月3日
延床面積	4,019 m <sup>2</sup>	確認者	(株)創元設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値: 100%  
 建築物の取組み: 88%  
 上記+ 以外の: 88%  
 上記+: 88%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物を境界線より離す事により周りへの圧迫感を配慮しました。		
<b>Q1 室内環境</b> 室内の仕上げをほぼ全面的にFとして計画し、シックハウスに配慮しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 工場建物になる為天井が高く、床荷重に関しては大きく設計されております。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 科学汚染物質をFとする事で空気室環境の向上に配慮しました。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明器具等は省エネタイプのものを選定しております。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 壁、屋根、天井等仕上材は大半を転式として再資源としての利用を考慮しました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地周り全面に緑地を設けて建物を出るだけ中心に計画して日影の影響を考慮しました。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される